

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。 |      |   |                                      |  |            |
|--|------|---|--------------------------------------|--|------------|
| 優先順位   | 項目番号 | 次のステップに向けて取り組みたい内容  | 目標                                   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                   | 目標達成に要する期間 |
| 1  | 6    | 現在、身体拘束は行われていないが今後も全職員で「身体拘束は絶対にしない」という意識を持ち制度改正の内容や身体拘束に関する勉強会をしていく。                       | 身体拘束は絶対しない。                          | 職員ミーティングや2か月に1度の推進会議の場で制度改正の内容や身体拘束に関する勉強会を行う。       | 12 ヶ月      |
| 2  | 26   | 認知能力や行動障害の背景(原因)出来そうな事(目標)各活動の要望、解決策ケアの留意点等をアセスメントに増やすと共にアセスメントをベースとして介護計画、日々の実践記録に連動させていく。 | アセスメントをベースとしてケアプランと日々の実践記録に連動させる。    | 利用者の背景・目標・各活動の要望解決策・ケアの留意点等をアセスメントシートに追加する。          | 12 ヶ月      |
| 3  | 33   | 体調変化や終末期における主治医との協力体制の在り方を検討していく、基礎疾患に応じたケアの留意点を医師等に確認する、訪看との更なる連携も検討していく。                  | 体調変化や終末期における留意点等を主治医に確認しながら看取りケアを行う。 | 主治医との協力体制の在り方や訪看との連携を検討する。                           | 12 ヶ月      |
| 4  | 35   | 避難場所(町民センター)のトイレや居室の状況を視察しマニュアルにいかしたい。  | 災害時に安心して避難できる。                       | 町民センターに視察に行き居室やトイレの確認をする、和式トイレの場合は持ち物にポータブルトイレを追加する。 | 12 ヶ月      |
| 5  |      |   |                                      |  | ヶ月         |